

株式会社ソルクシーズ（東証1部：4284）



SOLXYZとは"solution"と"xyz"を合成したもので、究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

機関投資家向け 説明資料

2019年3月

<https://www.solxyz.co.jp/>

会社概要・グループ戦略



会社概要

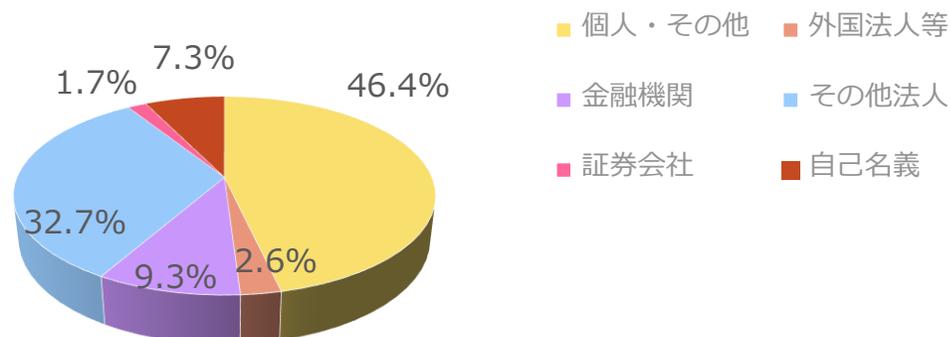
商号:	株式会社ソルクシーズ SOLXYZ Co., Ltd.
設立:	1981年2月4日
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組込みソリューション
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21
資本金:	14億9,450万円（2018/12末現在）
決算期:	12月31日
従業員数:	連結:720名 2018/12末
役員:	代表取締役社長 長尾 章 他常勤取締役 9名、社外取締役 3名 監査等委員設置
子会社:	10社



代表取締役社長 長尾 章

1955年2月23日生
1983年3月 トータルシステムコンサルタント設立 取締役
1998年1月 合併により当社専務取締役
2006年3月 当社代表取締役社長に就任
他グループ企業8社の取締役兼務

2018/12末
株主構成





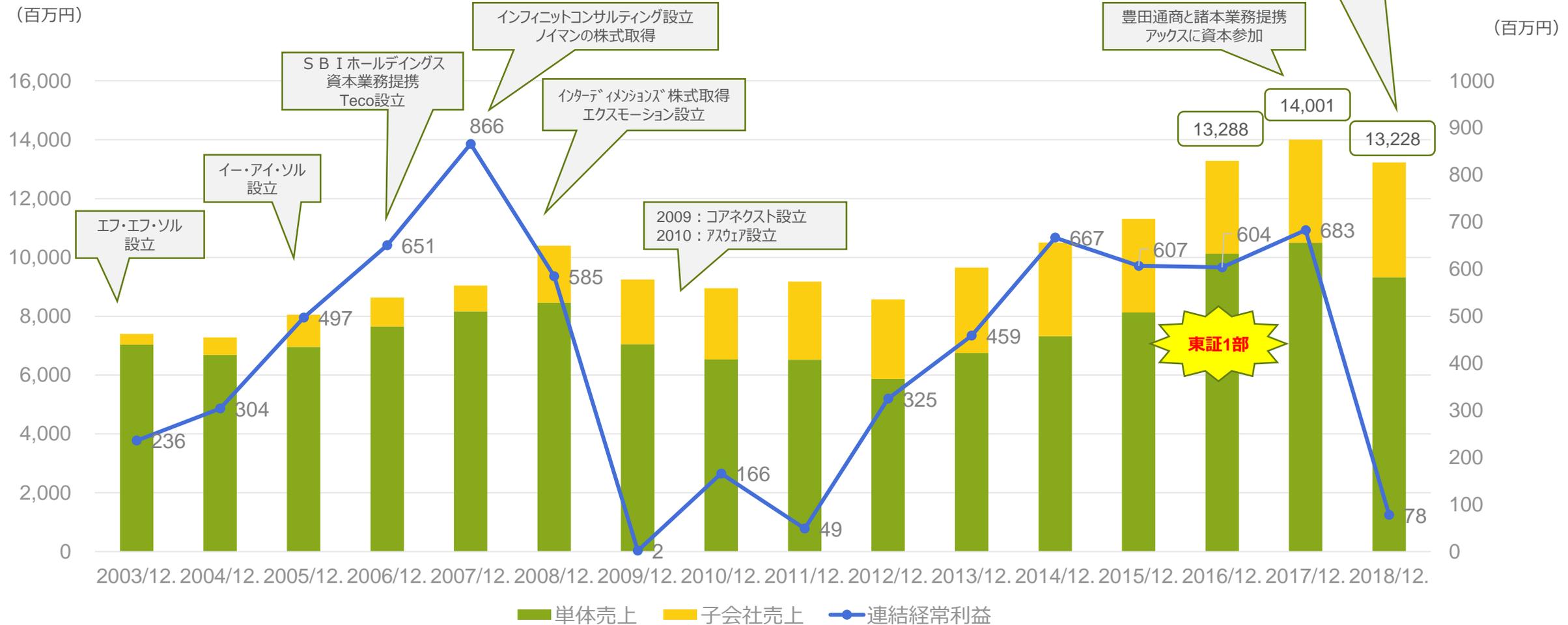
「情報技術の分野で究極の問題解決を提供し、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。」

経営理念

1. 高い技術力を持ち社会に貢献する
2. お客様に最高の満足を提供する
3. 皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
4. 新ビジネス・新技術へチャレンジする
5. グローバル企業を目指す

沿革と業績推移

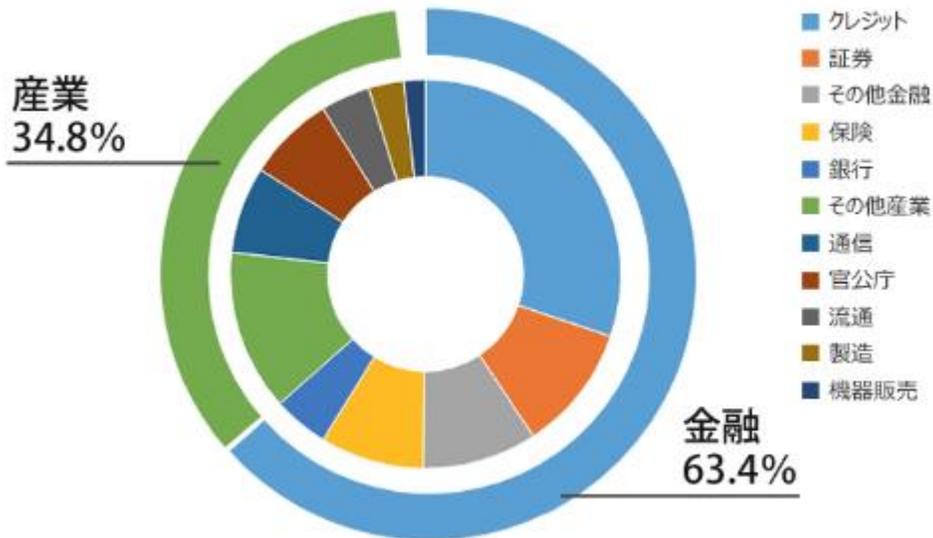
連結売上高/経常利益



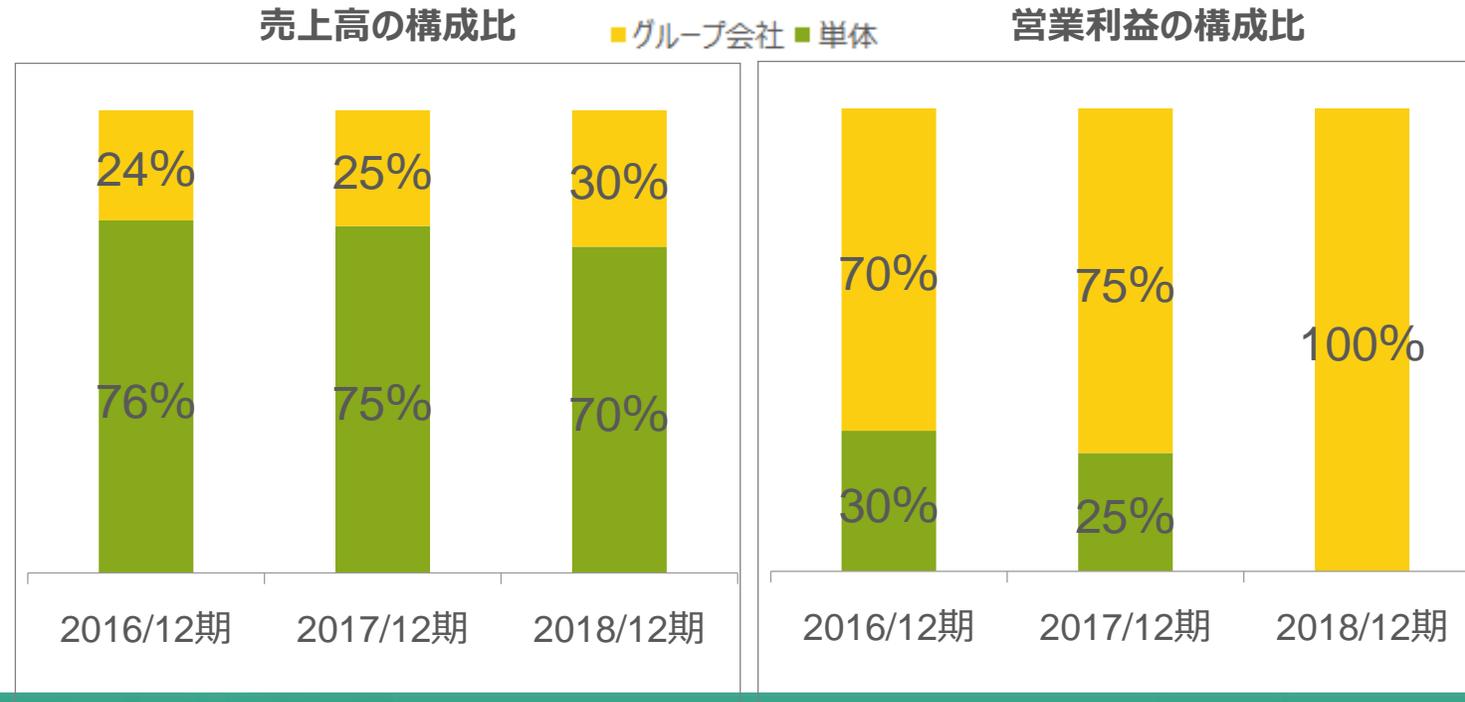
事業構成

- ソフトウェア開発売上げが全体の約96%
- 金融業界向けの受託開発案件を中心に、多様な分野のニーズに対応
- M&A戦略により、営業利益では子会社の割合が過半を占める

業種別の構成比



売上高は本体、営業利益は子会社が過半を占める



当社グループの成長モデル

- 継続的成長に向け、SIビジネスとストックビジネスの両輪を拡大（両輪政策）
（ストックビジネスについてはM&Aを主軸に展開）
- 利益率向上に向けた、組込み（自動車、IoT等）領域への拡大
- スタートアップ企業への出資と育成による新技術領域とIPO企業の創出



2018年12月期決算について



2018/12月期 総括

■ 国内IT投資は堅調に推移

…IoT, AIといったデジタルトランスフォーメーション投資が進む

■ 売上高は13,228百万円（前期比-5.5%）、 営業利益は 63百万円（同 -87.3%）

…プロジェクト損失、及び収束のためのコストにより利益面は大幅減（当該プロジェクトは既に収束済み）

■ 先端分野での提携、組織強化を推進

…子会社の(株)エクスマーシオン、資本提携先の(株)エーアイが上場

■ 最先端技術力を強化

… FinTech, AI, RPAなどで積極的な協業を推進

2018/12月期 損益サマリー

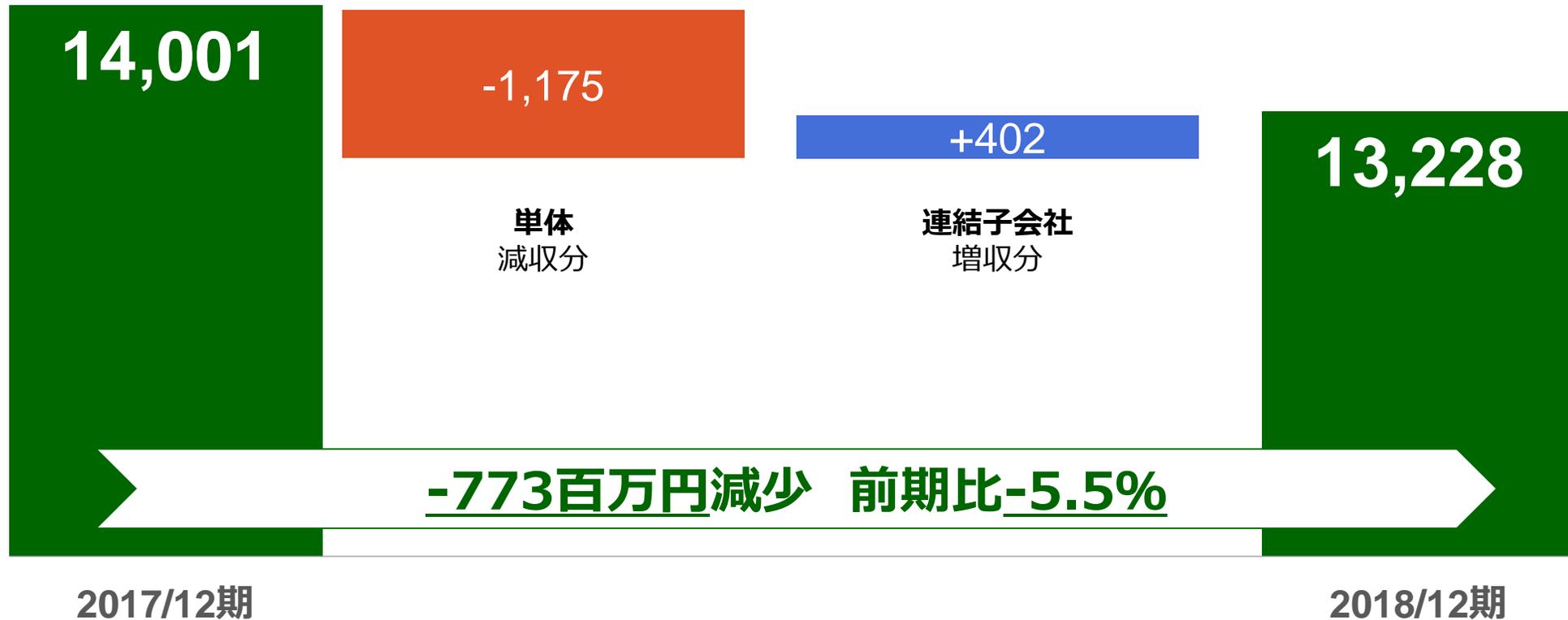
- ・ソフトウェア開発における不採算プロジェクトの追加費用により減収・減益
- ・子会社、資本提携先の上場により投資有価証券売却益等により、特別利益が増加

(単位：百万円)

	2017年度 実績	売上高比	2018年度 期初予想	2018年度 実績	売上高比	前期比増減	期初計画 達成率
売上高	14,001	-	13,600	13,228	-	-5.5%	97.3%
売上総利益	2,489	17.8%	2,800	2,194	16.6%	-11.8%	78.4%
販売管理費	1,987	14.2%	2,190	2,131	16.1%	+7.2%	97.3%
営業利益	501	3.6%	610	63	0.5%	-87.3%	10.4%
経常利益	683	4.9%	610	78	0.6%	-88.5%	12.9%
特別損益	-18	-	0	261	2.0%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	411	2.9%	390	147	1.1%	-64.2%	37.7%

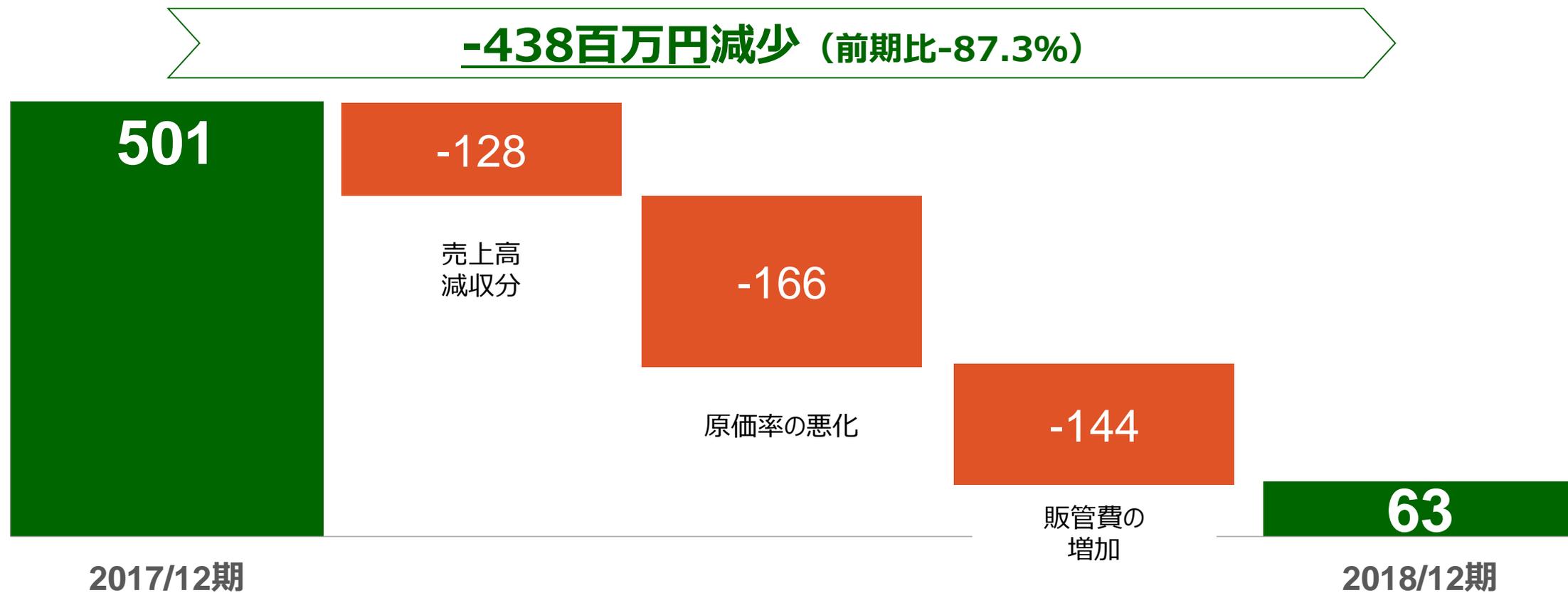
売上高の変動要因（連結）

- ・プロジェクト損失の影響により減収も、連結子会社は市場が堅調なため増収
当該プロジェクトは既に開発が終了し稼働中のため、今期への影響なし



営業利益の変動要因

- ・同じくプロジェクト損失の影響で減益も、当該プロジェクトは既に開発が終了済みのため、今期には影響なし。



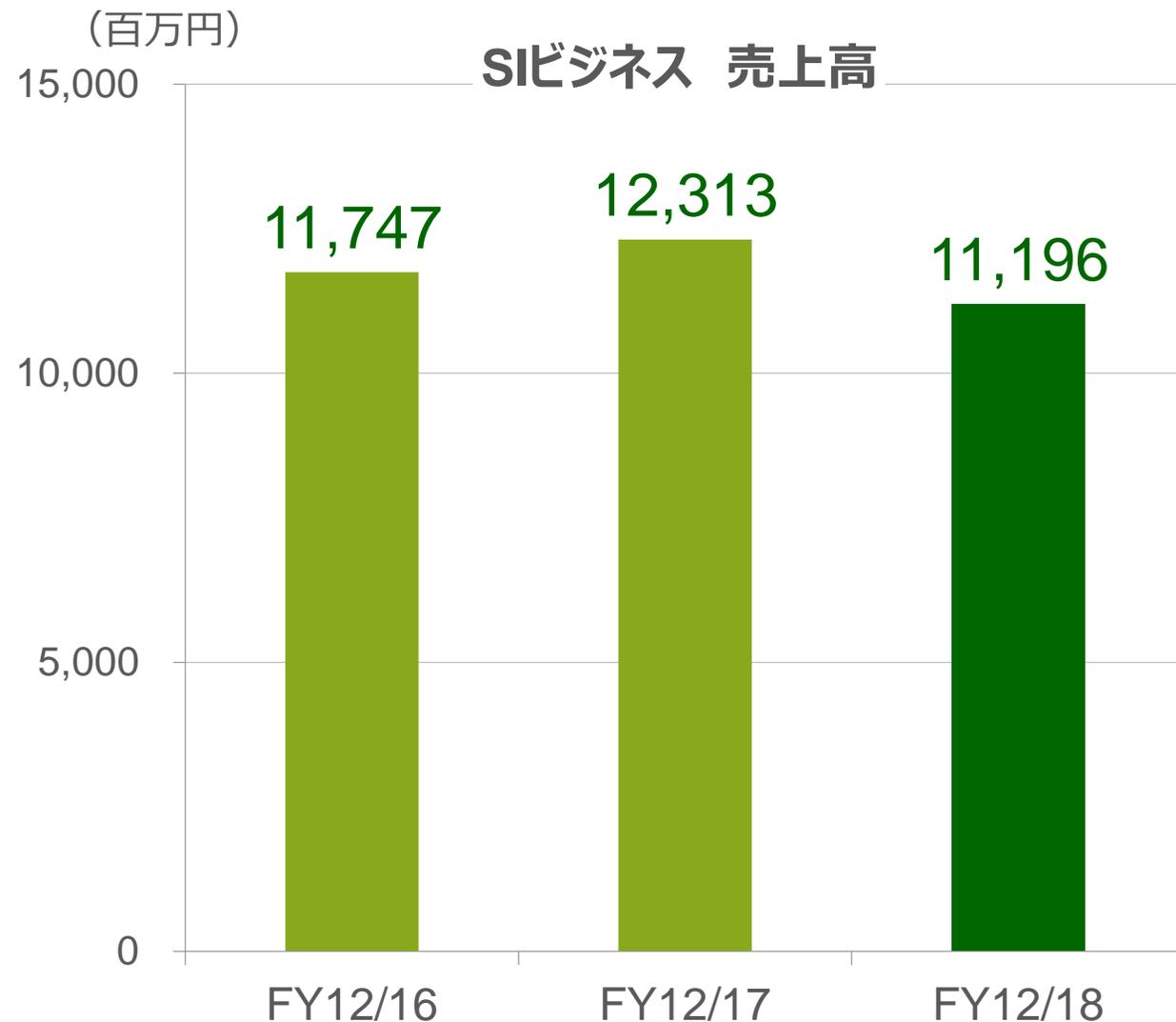
セグメント別損益の前期比

・SI/受託開発についてはプロジェクト損失の影響により減収も、ソリューション事業が好調に推移

(単位：百万円)

		2017年度 実績	売上高比	2018年度 予想	2018年度 実績	売上高比	前年同期比 %
売上高		14,001	-	13,600	13,228	-	-5.5%
	ソフトウェア開発	13,692	97.8%	13,233	12,746	96.3%	-6.9%
	SI/受託開発	12,313	87.9%	11,387	11,196	84.6%	-9.1%
	ソリューション	1,379	9.9%	1,846	1,550	11.7%	12.3%
	デジタルサイネージ	307	2.2%	366	481	3.6%	56.5%

セグメント別推移-SI / 受託開発事業（S Iビジネス）



□ 売上高：11,196百万円
(前期比-9.1%)

- ✓ 企業のIT投資は堅調な一方、プロジェクト損失により前期より減収
- ✓ 当該プロジェクトについては既に収束済みのため、19/12期以降への影響は僅少
- ✓ 人材不足を背景に、RPAなど業務自動化の需要増
- ✓ 今後はニアショアも積極的に拡大（北海道や九州方面）

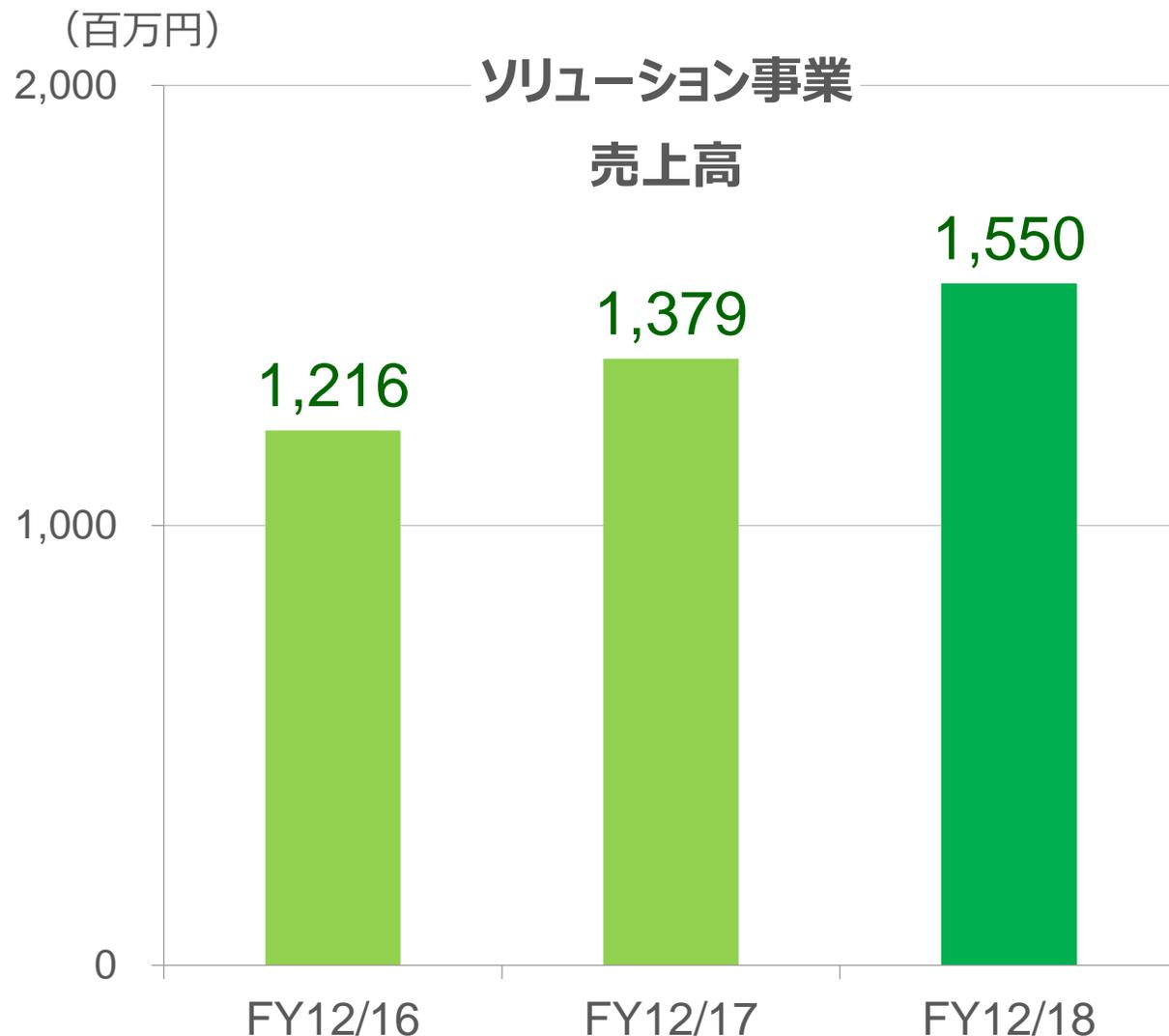
※当セグメントの詳細

情報システムの分析、設計～開発、移行・保守サービスが主な対象

計上対象の売上げ：

エフ・エフ・ソル、イーアイ・ソル・インフィニットコンサルティング、エクスマーシオン、teco、コアネクスト、アスウェアの各売上げ

セグメント別推移-ソリューション事業（ソリューションビジネス）



□ 売上高：1,550百万円
(前期比+12.3%)

- ✓ クラウドサービスの需要増により、クラウドサービス「Fleekシリーズ」の顧客が増加、好調に推移
- ✓ クラウド市場は堅調で、複数の大手受託開発案件も進行中
- ✓ 18年7月に豊田通商と海外提携
19年5月にクラウド事業を子会社化、ブランド力を強化、グローバルでの競争力拡大に努める

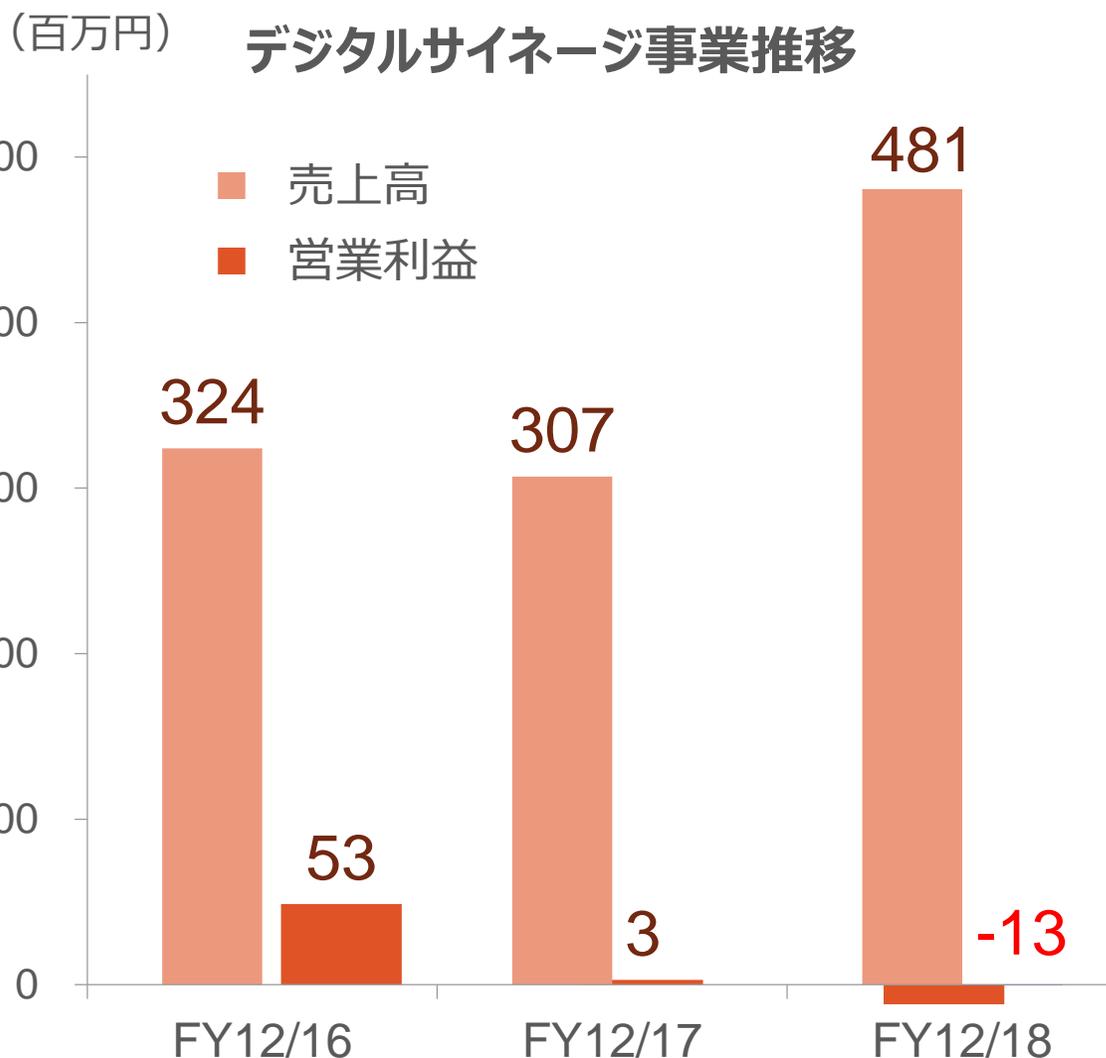
※当セグメントの詳細

パッケージソフトのライセンス、カスタマイズ・保守、セキュリティコンサルティング関連が主な対象

計上対象の売上げ：

ソルクシーズのソリューション部（機器販売除く）、クラウド事業推進部の売上、及び子会社ノイマンの売上げ

セグメント別推移-デジタルサイネージ事業



□ 売上高：481百万円
(前期比56.5%)

営業利益：-13百万円
(前期比-16百万円)

- ✓ 売上げ対象であるインターディメンションズ内での電気工事需要が増加し、増収

計上対象の売上げ：

S/I受託開発、ソリューション業務以外の売上げ=インターディメンションズの売上げが対象

トピックス

- ・注力中の各先端分野で開発・協業を積極的に推進
- ・子会社の(株)エクスマーシオン、資本提携先の(株)イーアイが上場

FinTech

2018/7
ジーフィット株式会社との
資本業務提携を締結

クラウド

2018/7
豊田通商グループとの代理店契約を締結

同事業は(株)Fleekdriveとして、2019年5
月に分社化予定

RPA

2018/10
UiPath株式会社との「開発リソース・パート
ナー・プログラム」の締結

IoT

子会社の株式会社イー・アイ・ソルにおいて、
製造業向けのソリューション、
「IoT/予知保全システム」の提供を開始

自動運転

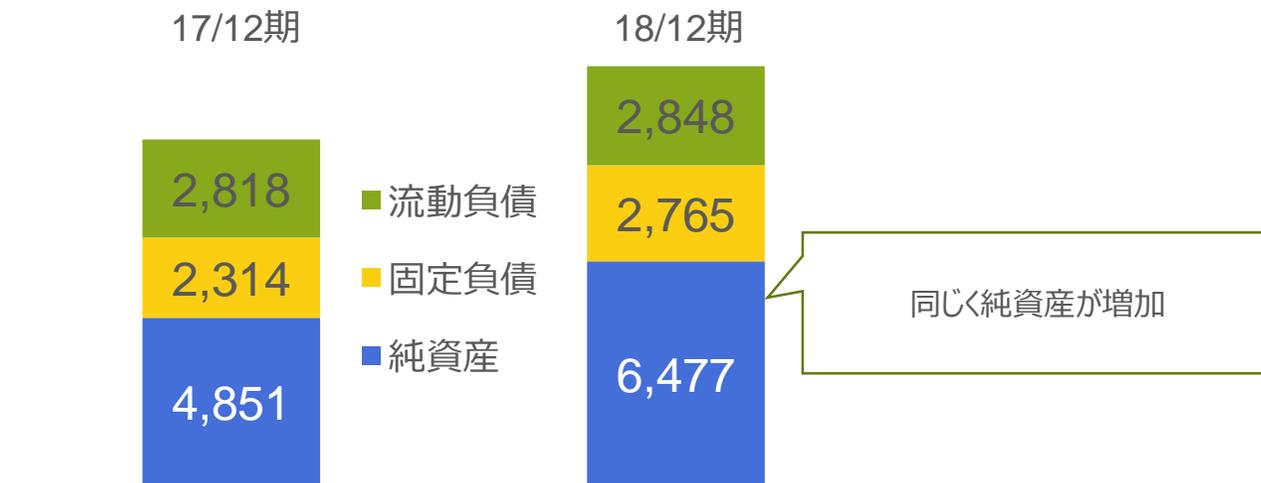
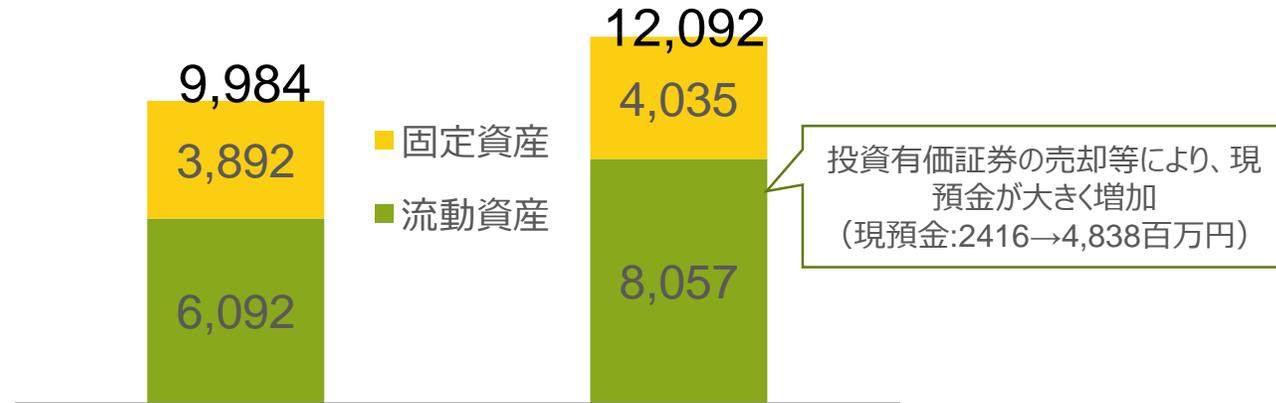
2018/7
子会社の株式会社エクスマーシオンが東証
マザーズに上場、更なる拡大へ
株価 3,520円 時価総額 4,648百万円
(2/25時点)

その他

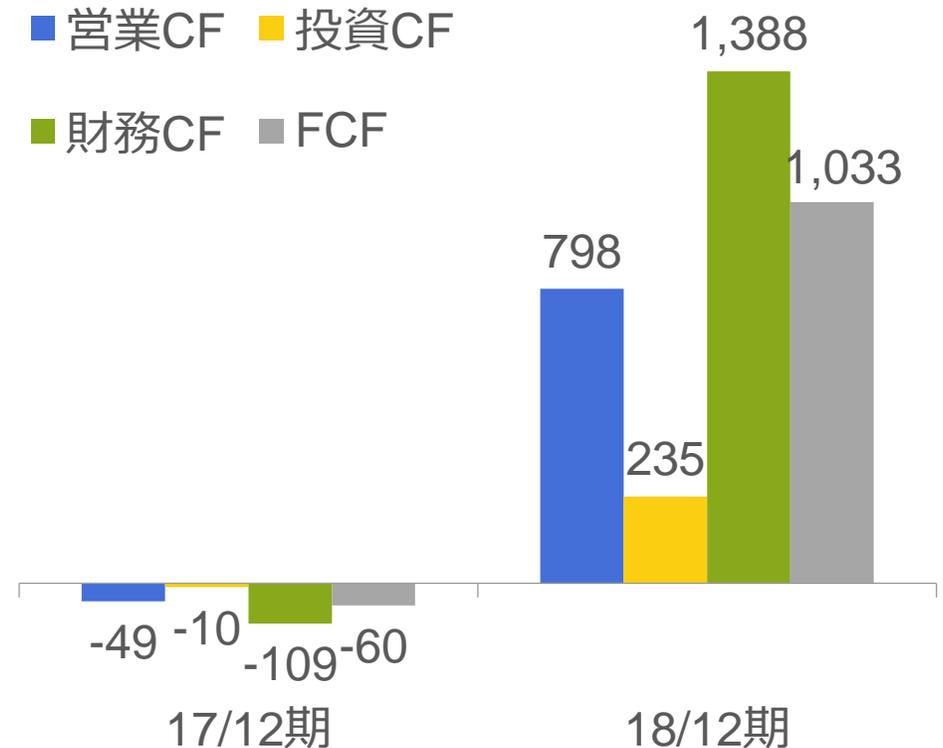
資本提携先の株式会社イーアイが東証マ
ザーズに上場
株価 1,871円 時価総額 9,217百万円
(2/7時点)

貸借対照表 / キャッシュフロー計算書

- ・自己資本比率は前年度より上昇し48.9%（前年比+1.3pt）
- ・子会社の(株)エクスマーシオン上場等により、現預金が大幅増



投資有価証券の売却等による営業CF増加により、FCF（フリーキャッシュフロー）が大幅増加
財務CFは長期借入れにより増加



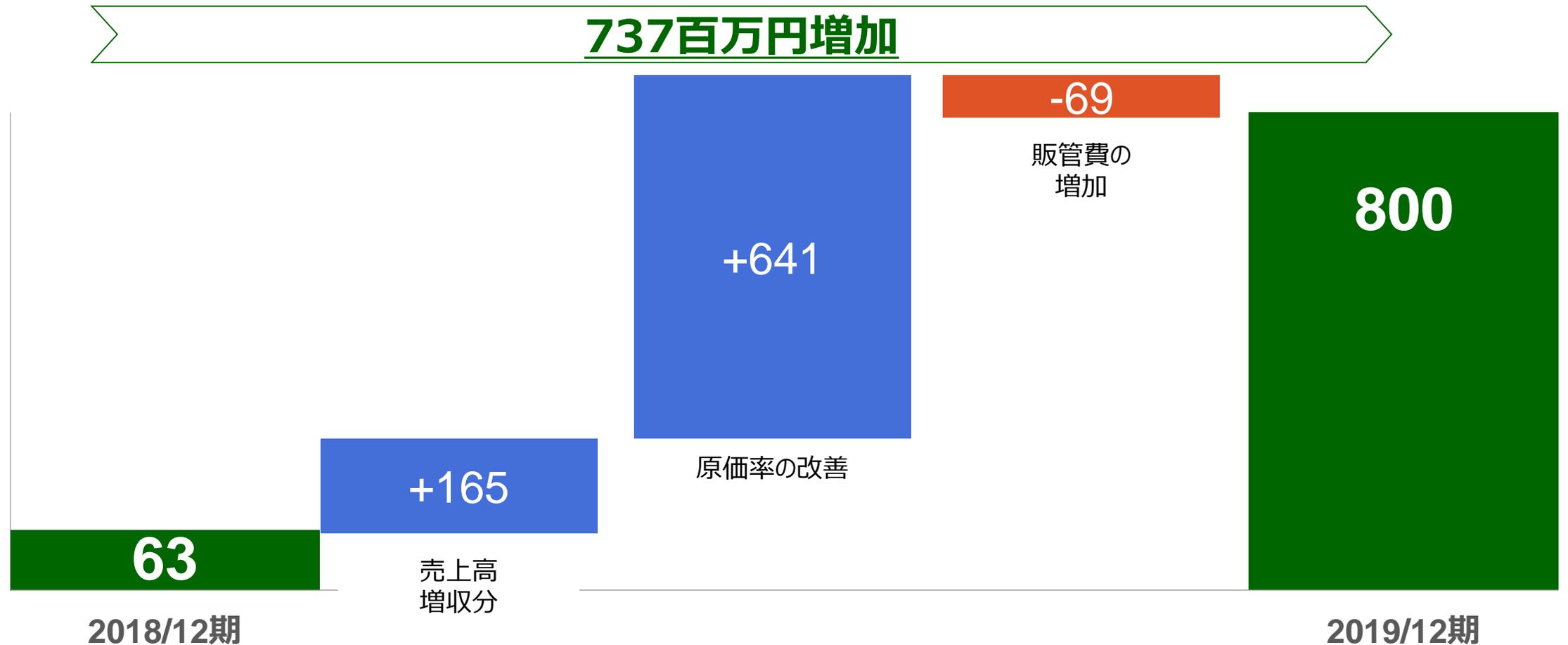
通期業績予想 2019/12月期

- ・減益要因のプロジェクト損失が既に収束しており、需要も旺盛のため、増収増益を予想
- ・当該プロジェクトの影響により上期がやや低く、下期にV字回復の見込み

(単位：百万円)	2018年度 実績	売上高比	2019年度 予想	売上高比	前年同期比
売上高	13,228	-	14,000	-	+5.8%
売上総利益	2,194	16.6%	3,000	21.4%	+36.7%
販売管理費	2,131	16.1%	2,200	15.7%	+3.2%
営業利益	63	0.5%	800	5.7%	+1160.6%
経常利益	78	0.6%	800	5.7%	+919.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	1.1%	450	3.2%	+205.9%

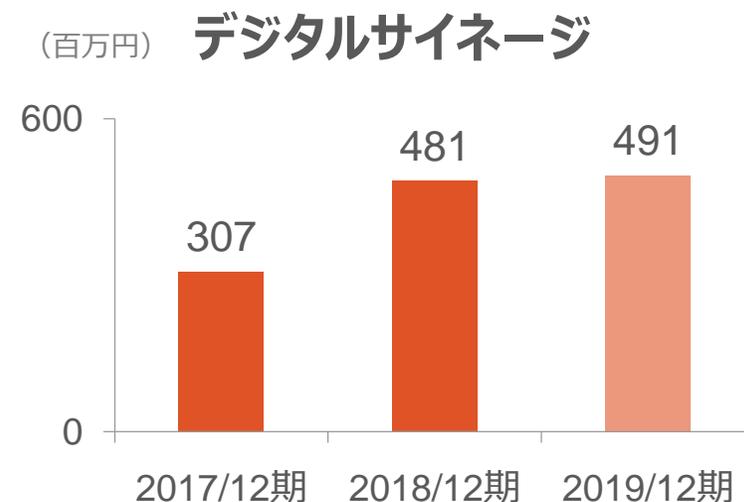
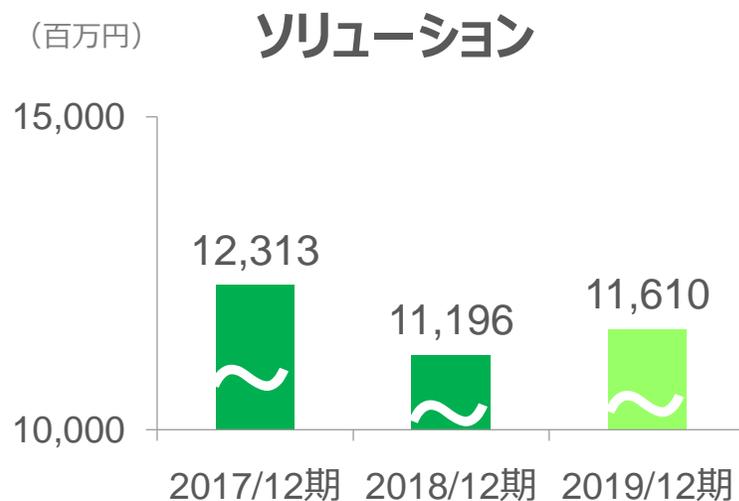
営業利益の変動要因

- ・同じくプロジェクト損失の影響で減益も、当該プロジェクトは既に開発が終了済みのため、今期には影響なし。



通期業績予想 2019/12月期 (セグメント別)

(単位：百万円)		2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想	売上高比	前年同期比 %
売上高		14,001	13,228	14,000	-	5.8%
	ソフトウェア開発	13,692	12,746	13,508	96.5%	6.0%
	SI/受託開発	12,313	11,196	11,610	82.9%	3.7%
	ソリューション	1,379	1,550	1,898	13.6%	22.5%
	デジタルサイネージ	307	481	491	3.5%	2.0%

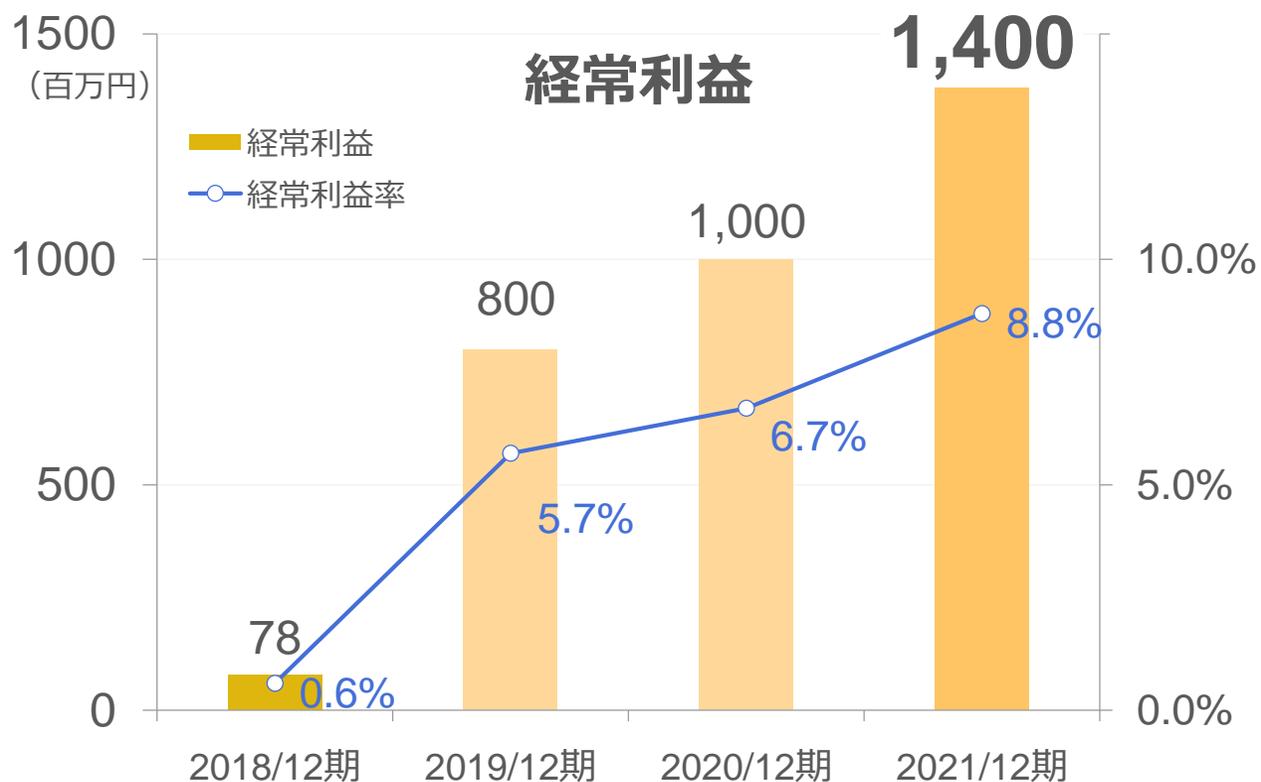
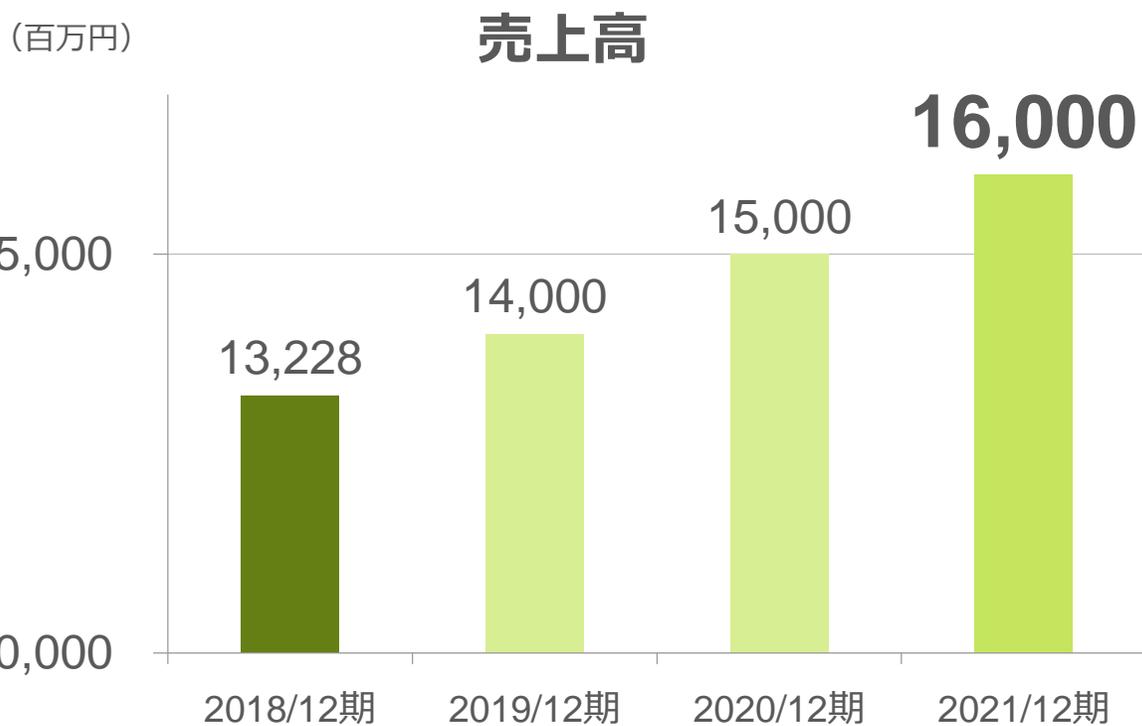


2019年12月期事業戦略



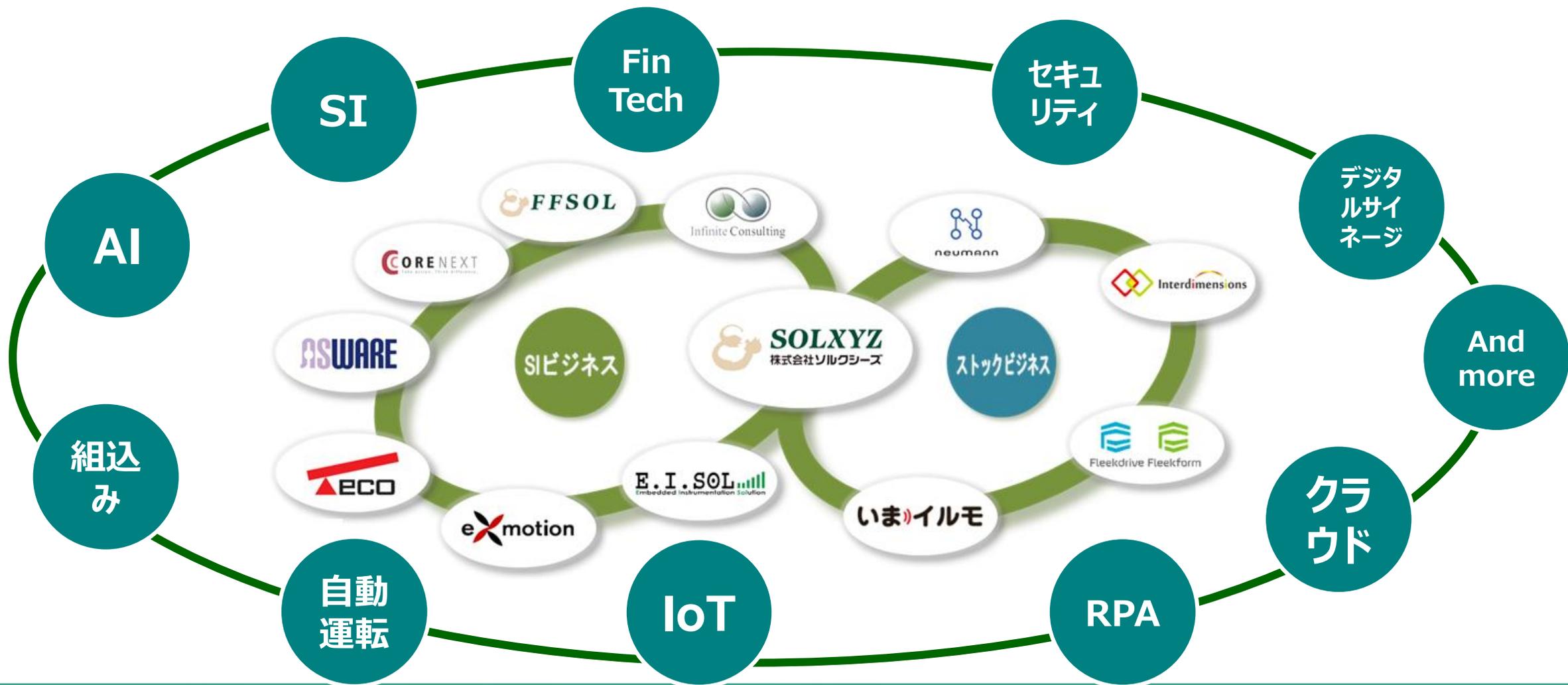
中期経営計画

- 毎年ローリングで策定・見直し
- 旺盛な需要から、最終年度には18/12期比で売上高+21%、経常利益14億円を想定
- 利益率の高いクラウド事業が成長するため、利益率も向上の見込み



グループ全体で最新分野をカバー（専門店化戦略）

- 各分野で専門化された子会社を端緒に、最先端のニーズを確保

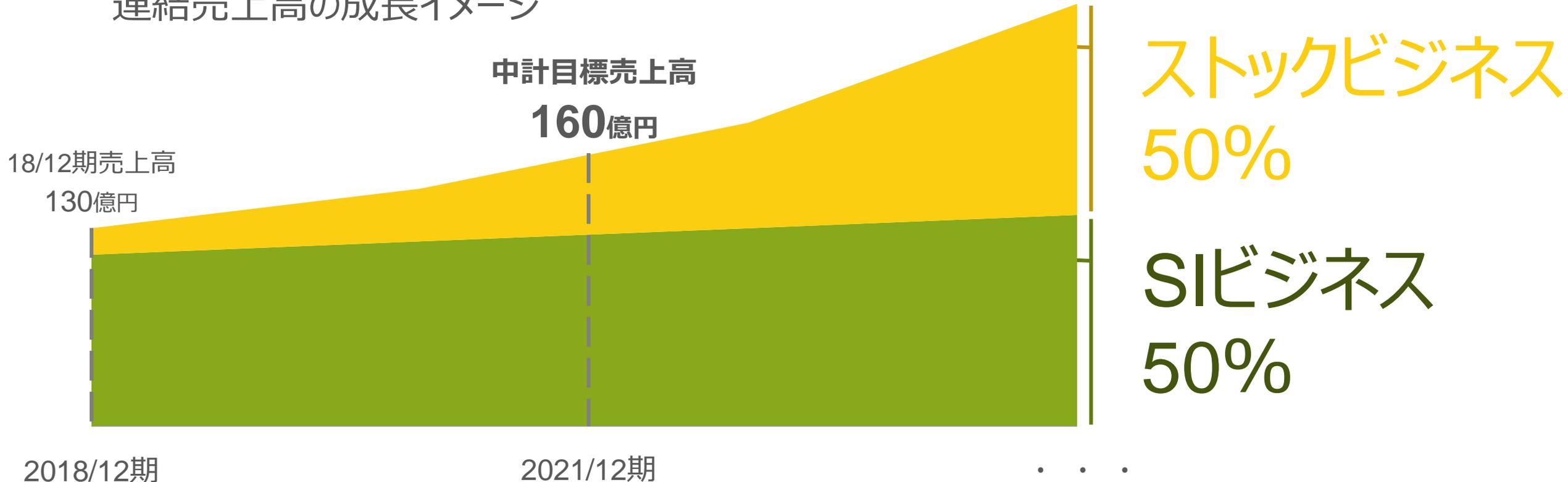


SIとストックビジネスの比率を50 : 50へ

- SIビジネスをベースとしながら、長期的にはストックビジネスを拡大、それぞれが50:50となるようビジネスを展開

連結売上高の成長イメージ

将来の事業構成比

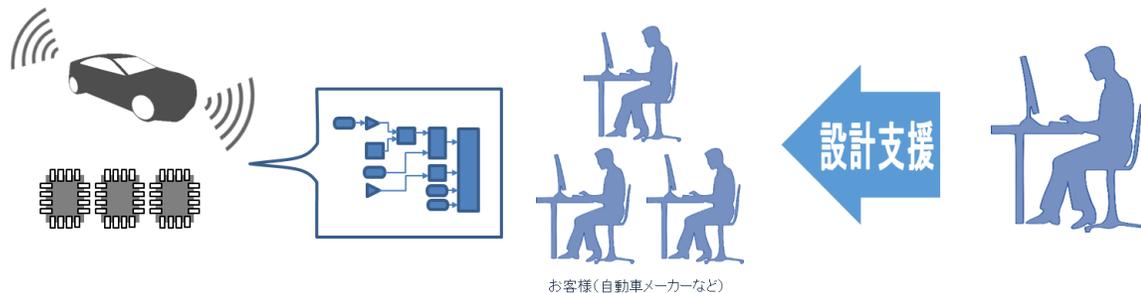


組込み分野拡大：自動車・メディカル（エクスマーション）

(株)エクスマーション（4394・東証マザーズ）



- ・ソフトウェアエンジニアリングのコンサルティングファーム
- ・自動運転、医療機器分野に強み
- ・2018年7月に東証マザーズへ上場
- ・自動運転・ADAS分野では最先端に位置し、国内大手企業との案件も多数



組込み分野拡大：IoT（イー・アイ・ソル）

(株)イー・アイ・ソル

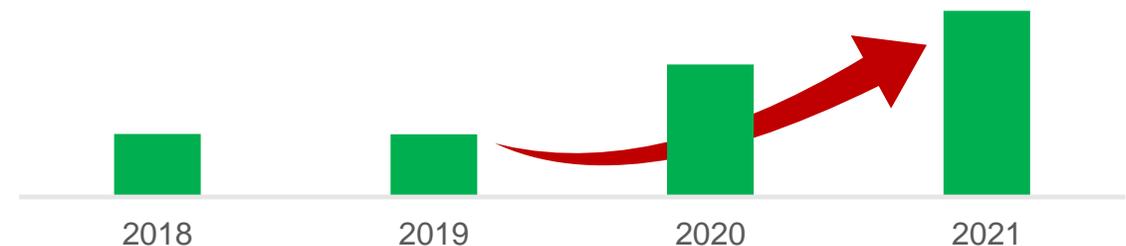


- IoT・組込・制御・計測関連のソリューションに特化
- IoTを駆使したシステムを開発、エネルギー管理システム「TUNNEL EYE」、工場の「予知保全システム」の2つは既に導入実績あり
- IoT関連の需要が強ク、今後3か年で堅調な成長を予定

「IoT/予知保全システム」



イー・アイ・ソル
3か年売上高推移イメージ



ストック分野の拡大：クラウドソリューション（Fleekシリーズ）

クラウドソリューション：Fleekdrive, Fleekform



ファイルコラボレーションサービス「Fleekdrive」

- ・ファイル共有用のクラウド型オンラインストレージ

Fleekdrive

<https://www.fleekdrive.com/>



帳票出力サービス「Fleekform」

- ・Salesforceと連携したクラウド型帳票管理ツール

Fleekform

<https://www.fleekform.com/>

- ・クラウド仕様のコンテンツ管理サービス
- ・2012年より開始、大手含め契約社数は約300社
- ・セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- ・18/6/1に豊田通商の海外会社と販売代理店契約を締結
- ・19/5に(株)Fleekdriveとしてクラウド事業を子会社化、利益率が高く、今後の収益性に大きく貢献予定

Fleekdrive事業の
3か年売上高推移イメージ



注力分野：その他（FinTech・AI・RPA）

FinTech

(株)ジーフィットと資本業務提携

- ・同社は金融システムツールを開発・運用するテクノロジスト集団。システムトレード用アプリケーション運用サービス「シストレクラウド」を運営するFinTech企業
- ・FinTechビジネスにおけるサービス提供、開発リソースの提供などを目的とし、資本提携

AI

(株)アックス主導によるAI分野への注力

- ・当社が14%を出資。AI関連ソフトウェアの開発が主。近年ではAI/自動運転で名古屋大学と産学共同研究中。トップクラスのオートウェアを有し、エヌビディアや国内自動車最大手企業も活用中。
- ・今後はSBIホールディングスとブロックチェーン分野へも応用予定。

RPA

UiPath社とのRPAプラットフォームプロジェクトの開発に着手

- ・米国UiPathは国内500社超、世界で1,800社超へのRPAサービスを導入するRPAのリーディングカンパニー。
- ・リセラー契約に加え、同日本法人と開発リソース・パートナープログラムを締結。コアの技術面からのサポートも可能に
- ・強みである金融分野を足掛かりに、2021年には市場規模100億と言われる*市場を見据え、RPAソリューションを展開予定*総務省の調べによる

株主還元方針

- ・配当性向を考慮しながら、安定した配当の実施を重視
- ・2018年6月をもって株主優待制度を廃止、今後は配当重視の還元へ
- ・2018年12月期分については増配を発表、配当性向は126%

年度	中間	期末	合計
2017年12月期	0.00円	8.00円	8.00円
2018年12月期	0.00円	15.00円	15.00円
2019年12月期（予）	0.00円	10.00～15.00円	10.00～15.00円

APPENDIX



会社概要



SOLXYZ

株式会社ソルクシーズ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21

- 金融・通信・基盤分野などのシステム開発に専門特化
- 生活や企業のシステムを支えるインフラを、ワンストップで構築・運用する企業集団

- 社長 : 長尾 章
- 設立 : 1981年2月 (2019年度は40期目)
- 資本金 : 14億9,450万円
- 売上高 : 132億2,863万円 (2018年12月期連結実績)
- 営業利益 : 6,346万円 (同上)
- 従業員 : 720名 (2018年12月末現在連結合計)

■ 主要株主	： SBIホールディングス(株)	2,150千株	16.0%
	(株)ビット・エイ	1,320千株	9.8%
	長尾 章	559千株	4.2%
	(株)ヤクルト本社	530千株	4.0%
	豊田通商(株)	134千株	1.0%
	※自社株	977千株	7.3%
	※発行済株式数	13,410千株	
	(2018年12月末現在)		

- 上場市場 : 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 4284)

- グループ会社
- (株)エフ・エフ・ソル (95.9%)
- (株)イー・アイ・ソル (100.0%)
- (株)インフィニットコンサルティング (100.0%)
- (株)ノイマン (100.0%)
- (株)teco (100.0%)
- (株)インターディメンションズ (100.0%)
- (株)エクスマーシオン 東証マザーズ (4394) (60.6%)
- (株)コアネクスト (100.0%)
- (株)アスウェア (100.0%)
- アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同) (75.7%)
- (株)Fleekdrive (2019年5月7日営業開始) (100.0%)

- 親密出資先
- エンカレッジ・テクノロジー(株) 東証マザーズ (3682) (3.4%)
- (株)エーアイ 東証マザーズ (4388) (7.1%)

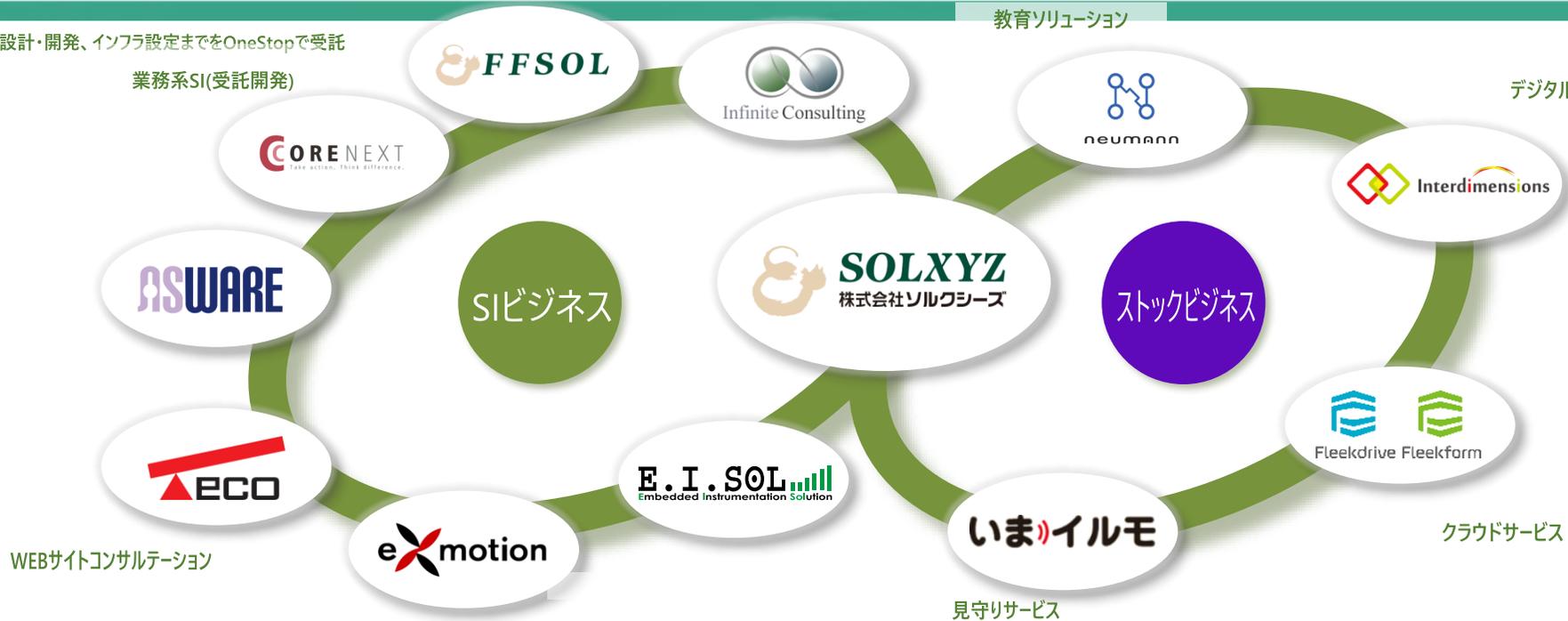
グループ概要

要件定義～設計・開発、インフラ設定までをOneStopで受託

業務系SI(受託開発)

教育ソリューション

デジタルサイネージ



組込系SI

S I ビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
インフィニットコンサルティング	S I 上流工程のコンサルティング	証券業、電気機器業、医療機器業
エフ・エフ・ソル	S I 銀行系に特化	ネットバンク、都銀、地銀、信用金庫
コアネクスト	S I 投資顧問系に特化	投資信託業、投資顧問業
アスウェア	S I ICTインフラの設計・構築・保守	SIベンダー、通信業
テコ	WEB ウェブマーケティング、コンサルティング	製品販売業、各種企業
イクスモーション	組込 製造業等の設計支援	自動車製造業、医療機器製造業
イー・アイ・ソル	組込 制御・計測系の組込システム、IoT	装置製造業、計測機器製造業

ストックビジネス

ストックビジネス		
会社/サービス名	事業/サービスの内容	主要顧客
ノイマン	教育機関向けソリューション開発・販売	自動車教習所、学校、塾
インターディメンションズ	デジタルサイネージ、AV、セキュリティ設置販売	商業施設、文教施設、自治体
いまイルモ	IoTによる見守りサービス	個人、介護施設
Fleekdrive/Fleekform	クラウド環境上でのコラボレーションソリューション	各種企業

※上記クラウドサービスは分社化し、5/7より営業開始 (株)Fleekdrive)

各子会社の業績概況

業務系受託ソフトウェア・コンサルティング業務

 Infinite Consulting	(株)インフィニットコンサルティング	売上高 … 前期比 減 営業利益 … 前期比 減
	概況：要員体制に変更が生じ、減収減益	

業務系受託ソフトウェア・開発業務

 FFSOL	(株)エフ・エフ・ソル	売上高 … 前期比 増 営業利益 … 前期比 増
	概況：案件の小型化が継続傾向。徐々に受注案件が増加中。	

 CORENEXT <small>Take action. Think difference.</small>	(株)コアネクスト	売上高 … 前期比 増 営業利益 … 前期比 増
	概況：金融案件が堅調となり、前年同様に好調	

 ASWARE	(株)アスウェア	売上高 … 前期比 増 営業利益 … 前期比 減
	概況：インフラ投資は堅調だが、案件の期ズレにより減益	

 ECO	(株)teco	売上高 … 前期比 減 営業利益 … 前期比 減
	概況：高収益の案件減少により減収減益	

業務系ソリューションサービス

 neumann	(株)ノイマン	売上高 … 前期比 減 営業利益 … 前期比 減
	概況：主力商品の販売が伸びず、減収減益	

組込コンサルティング業務

組込み系事業  eXmotion	(株)エクスマーション	売上高 … 前期比 増 営業利益 … 前期比 増
	概況：自動運転・ADAS・EV関連の設計支援が好調	

組込系開発業務・ソリューションサービス

 E.I.SOL <small>Embedded Instrumentation Solution</small>	(株)イー・アイ・ソル	売上高 … 前期比 減 営業利益 … 前期比 減
	概況：昨年と比べ小型案件が多かったため、減収減益	

デジタルサイネージ

 Interdimensions	(株)インターディメンションズ	売上高 … 前期比 増 営業利益 … 前期比 減
	概況：売り上げ増も低利益な案件が多く、減益	

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>